

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論 I	NSP22_003	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堀口 まり子 他	408	mariko.horiguchi	月曜日 15:00～18:00		
授業の目的・概要	成人・老年期の生命の危機的状態にある対象とその家族に焦点をあて、生命の維持、苦痛の緩和、セルフケア能力の回復に向けた援助方法の修得を目的とする。授業はTeamsおよび対面授業で行い、急性期看護に必要な基本知識(解剖学、病態生理学、心理社会学等)を基にした対象への治療および看護援助の考え方と方法を実践的な演習、DVD活用等のアクティブラーニングを活用して学習する。				
学習上の助言	成人看護学概論、成人看護援助論IIで学修した知識と1年次および2年次の疾病治療論等の基礎知識が前提となるので、授業を通して事前・事後学習を自主的に行うこと。				
教科書	系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 第11版/医学書院 専門分野(2)成人看護学<2> 第15版 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院 専門分野(2)成人看護学<3> 第15版 循環器(系統看護学講座)/医学書院 専門分野(2)成人看護学<5> 第15版 消化器(系統看護学講座)/医学書院 専門分野(2)成人看護学<7> 第15版 脳・神経(系統看護学講座)/医学書院 専門分野(2)成人看護学<8> 第15版 腎・泌尿器(系統看護学講座)/医学書院 専門分野(2)成人看護学<10> 第15版 運動器(系統看護学講座)/医学書院 [7冊指定]				
参考書	・経過別成人看護学①急性期看護:クリティカルケア/編:明石恵子、益田美津美/メヂカルフレンド/2018 ・経過別成人看護学②周術期看護/編:明石恵子、益田美津美/メヂカルフレンド/2018				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	生命の危機状態にある対象と家族の回復過程への看護について説明ができる。		HSU(1)(2) NS(1)(3)		
②	生命の危機的状態にある対象の治療、処置、検査について説明できる。		HSU(2) NS(3)		
③	治療(手術を含む)、処置、検査を受ける対象への看護を説明できる。		HSU(2) NS(3)		
④	生命の危機的状態を脱した対象と家族のセルフケアへの看護が説明できる。		HSU(3) NS(1)(2)(3)		
⑤	対象の社会的な生活背景を踏まえ退院後のQOLの維持・向上の看護援助を理解できる。		HSU(1)(2) NS(1)(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	急性期看護(クリティカルケア)の基本(概念・対象・看護の役割・看護の要点等)	講義	事前課題:臨床外科看護総論序章「外科看護とは」「外科看護の役割と課題」をまとめる。 事後課題:臨床外科看護総論序章「外科看護の流れと看護の要点」をまとめる。	2	
2	手術療法における周術期看護の役割と看護の基本	講義	事後課題:周術期看護の役割について、授業のまとめを行う。	1	
3	急性期における生体反応および感染症	講義	事前課題:臨床外科看護総論1章「手術侵襲と生体の反応」「炎症」「感染症」をまとめる。	1	
4	急性期における創傷治療等	講義	事前課題:臨床外科看護総論1章「創傷治療」をまとめる。	1	
5	周術期看護:術前の看護	同時双方向型授業	事前課題:麻酔・輸血について、自己学習して授業に臨む。 事後課題:周術期看護(術前)について、授業のまとめを行う。	1	
6	周術期看護:術中の看護(直接・間接介助)(麻酔・輸血等)				
7	周術期看護:術中の看護(人工呼吸器管理・ICU等)	講義	事前課題:人工呼吸器管理について、自己学習して授業に臨む。 事後課題:周術期看護(術後)について、授業のまとめを行う。	1	
8	周術期看護:術後の看護				
9	これまでの授業のまとめ①	小テスト講義	事前課題:1～8講までのまとめを行う。 成人看護学<3> 循環器「循環器の構造と機能」「検査」「虚血性心疾患」「心不全」をまとめる。	3	
10	循環器疾患の手術を受ける対象の看護				

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

11	循環器疾患の手術を受ける対象の看護	講義	成人看護学<3> 循環器「循環器の構造と機能」「検査」「虚血性心疾患」「心不全」をまとめる。	1
12	循環器疾患の手術を受ける対象の看護(事例検討)	GW・発表	事後課題:事例への看護をまとめる。	2
13	呼吸器疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題:成人看護学<2>呼吸器「呼吸器の構造と機能」「検査と治療」についてまとめる。	1
14				
15	運動器疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題:成人看護学<10>運動器「運動器の構造と機能」「検査と治療」についてまとめる。	1
16				
17	消化器疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題:成人看護学<5>消化器「消化器の構造と機能」「検査と治療」についてまとめる。	1
18				
19	消化器疾患の手術を受ける対象の看護(事例検討)	GW・発表	事後課題:事例への看護をまとめる。	2
20	泌尿器疾患の手術を受ける対象の看護	講義	事前課題:成人看護学<8>腎・泌尿器「泌尿器の構造と機能」「検査と治療」についてまとめる。	1
21	脳・神経疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題:成人看護学<7>脳・神経「脳・神経の構造と機能」「検査と治療」についてまとめる。	1
22				
23	これまでの授業のまとめ② 手術室看護の安全	小テスト講義	事前課題:9～22講までのまとめを行う。 事前課題:臨床外科看護総論6章「チーム医療と看護の役割」「インフォームドコンセント」「周術期における安全管理」についてまとめる。	2
24	病院における急性期看護の実際(外来講師)	講義	事後課題:講義での学びをまとめる。	1
25	術前・術後準備及び管理(酸素・ベッド・ドレーン等の管理、創処置、呼吸)輸液管理 モニタリング	実技・演習	事前課題:左記演習項目について、目的・方法・手順をまとめる。	4
26				
27				
28				
29	救急看護の基礎:救急処置法の実際 救急看護の実際	講義	事前課題:「救急処置の範囲と対象、救急処置法の原則と実際」「救急看護の役割、救急発生時の看護」についてまとめる。	1
30	救急処置法・看護の実際	実技・演習	事前課題:救急処置法の目的、手順、処置時の注意点をまとめる。	2
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	10	0	10	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	5	0	70
	思考・推論・創造する力	0	5	0	5	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験および小テストにより学習成果を評価する。				試験後に解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	25～28 回および 29・30 回の演習の事前・事後課題を評価対象とする。				事前課題を踏まえて実技を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	ノートにまとめた事前・事後課題を評価する。				事前課題を基に授業を進める。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
<p>担当教員：◎堀口まり子、小林 美雪、吉岡睦世</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験への教科書持ち込みは不可とする。 ・対面授業に際しては、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業への参加を認めません。 ・Teams を使った同時双方向型授業に際しては、通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨いたします。 ・新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際は随時、お知らせいたします。 <p>教員の実務経験：科目責任者は、看護師として 41 年の臨床経験を有する。</p> <p>実践的授業の内容：実務経験のある教員の指導のもと、成人期の看護について理解を深める。 教員の経験から成人期の看護の実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。</p>							